

親子で学ぶSDGs

～「鹿児島県の海から学ぶSDGs」講演・海藻おしば体験～

令和4年8月13日 大隅地域振興局

8月13日（土）に、小学生以上とその保護者を対象とした夏休みイベント「親子で学ぶSDGs」が県庁18階コワーキングスペースSOUUで開催されました。

「鹿児島県の海から学ぶSDGs」と題して、鹿児島県の海で現在起こっている変化や消費者の影響、海の豊かさを守るために大切なことを講演しました。

県内各地の沿岸では以前よりも獲れる魚種が変わってきている一方で、約30年間消費者が多く食べている魚のランキング上位はほぼ変わっていないこと。市場流通は消費者が求める魚を効率よくそろえる機能をもつ一方で、消費者のニーズに応えようとするあまりに乱獲や産地偽装など起きていること。また、食物連鎖で一次生産を担う藻場が減少していることで生態系のピラミッドのバランスが崩れていることなど、小学生・中学生7名と保護者6名に動画も使用しながら説明しました。

講演の最後には海藻おしば体験を行い、佐多岬が国内で生産量のシェアを多く占めるものの、近年減少傾向にあるトサカノリをおしばにしました。

